

参 考

<特別講演> 『産業遺産としての肥薩線を考える』

西村 幸夫 氏

【プロフィール】

1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。

明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授、2011年より東京大学副学長。この間アジア工科大学助教授（バンコク）、MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。

【主な役職】

日本 ICOMOS(イコモス)国内委員会委員長、国土交通省国土審議会委員、交通政策審議会観光分科会委員、文化庁文化審議会委員、同世界遺産・無形文化遺産部会会長、同世界文化遺産特別委員会委員長、日本ユネスコ国内委員会委員、同ユネスコ記憶遺産事業選考委員会委員、「九州・山口の近代化産業遺産群」専門家委員会委員長。